

事務連絡
平成30年2月20日

各都道府県建設業協会事務局長 殿

一般社団法人 全国建設業協会
専務理事 伊藤 淳

『表現者 criterion』の創刊について（ご案内）

この度、MXエンターテイメント株式会社より、京都大学大学院の 藤井 聡 教授を編集長とする『表現者 criterion』が創刊されました。

同誌は『表現者』という保守言論誌を刷新し、元国土交通省技監の大石久和氏、同元河川局長の竹村公太郎氏による国土・インフラに関する新しい連載を開始するなど、これまでの保守論壇の各種議論に加え、執筆陣についても大幅にリニューアルして創刊されたものです。

つきましては、藤井教授のお願い文とともに創刊号をご参考に送付いたしますので、御多忙の中誠に恐縮ですが、貴会会員の皆様に周知下さいますようお願い致します。

なお、定期購読を希望される場合は、巻末の振込用紙をお使いいただくか、又は藤井教授に直接メール（fujii@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp）をしていただく等によりお申込み下さいますようお願いいたします。

【参考】定期購読 3か月分 3,800円
6か月分 7,200円

振込先 郵便局 口座記号00140-8
口座番号264342
加入者名 MXエンターテイメント株式会社



以上

平成三十年二月吉日

一般社団法人 全国建設業協会 役員・会員の皆様へ

京都大学大学院教授・藤井聡

雑誌表現者：「社会コミュニケーション活動」へのご協力をお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも当方の研究活動等にいろいろとご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、当方、これまで文春新書での「公共事業が日本を救う」「列島強靱化論」や、PHP新書での「超インフラ論」などの出版を通して、大学での基礎研究を基本として「国益増進」の視点からインフラ政策が必要不可欠であるとの「社会コミュニケーション活動」を、国立大学教員の社会責務の一つとして展開して参りました。その一環で、保守系論壇でも長らくインフラ論も含めた「言論活動」を展開して参りました。その中でこの度、縁あって、「表現者」という保守言論誌の編集長に就任いたしました。この雑誌はこれまで、故西部邁先生を中心に憲法論や国防論、文学論や思想論、地域創成論等を四半世紀に渡って展開してきたものでしたが、晩年の西部邁先生からの直接指名により当方が編集長に就任致した次第です。

については「守るべきものを守り、革新すべきを革新する」精神の下、本雑誌を刷新し、新しい雑誌名も「表現者 criterion」と改めると共に、執筆陣も大幅にリニューアルし、本年2月16日に創刊することとなりました。については、これまでの保守論壇の各種議論の継続に加えて、

- ・大石久和氏(元国交省技監)に「国土」を含めた巻頭連載、をはじめ
- ・竹村公太郎氏(元国交省河川局長)に「歴史」と「土木」の視点を交えた連載や、
- ・松原隆一郎氏(東京大学教授)に、まちづくりや地域づくりの視点からの第二巻頭連載、
- ・当方(藤井聡)からも、「国土学」を論ずる連載

等、国土、インフラにも関わる新しい連載を開始します。こうした取り組みは、論壇や政治には、経済や憲法や国防等の議論だけでなく、国土論やインフラ論が含まれているべきであり、それこそが健全な論壇であり政治であるとの確信に基づくものです。

本誌は広く国民一般に発刊するものですが、建設関係の皆様にも是非ともご購読頂きたく、本書をご紹介差し上げる次第です。ご賛同いただける貴会の役員・会員の皆様方に置かれましては是非とも下記の形にて本「社会コミュニケーション活動」へのご協力をお願いできますと幸いです。建設業を巡る世論の適正化にも資する本誌の活動へのご協力、伏してお願い申し上げます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

一、本誌の定期購読を、何卒よろしくお願い申し上げます。

※ 添付の定期購読の振り込み用紙にて、お振込みください。あるいは、藤井 (fujii@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp) まで定期購読希望の旨、ご一報ください。

一、本誌では「広告」を掲載させていただいております。本誌の継続のためにも、何卒ご協力のほど、お願い申し上げます。

※ ご検討いただける場合は下記連絡先の藤井までご一報願えると幸いです (fujii@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp、あるいは京都大学市橋秘書・075-383-3238)

以上